



## 「これからの高校づくりに関する指針」 検証結果報告書 【目 次】

### はじめに

- 1 作成目的（検証目的）…………… ●
- 2 作成（検証）の背景（指針の見直しの必要性）…………… ●
- 3 検証方法…………… ●
- 4 報告書の構成及び指針との対応関係…………… ●

### I 高校配置計画に係る現状・取組状況等及び課題・方向性等

- 1 高校配置計画の策定に係る取組状況…………… ●
- 2 高校配置計画に係る現状・取組状況等及び課題・方向性等…………… ●
  - (1) 学校規模の適正化を踏まえた配置…………… ●
  - (2) 小規模校の存続等、地域の教育機能の維持向上を踏まえた配置…………… ●
  - (3) 多様な学習ニーズへの対応を踏まえた定時制・通信制課程の配置…………… ●
  - (4) 学級定員…………… ●
  - (5) 公立高校と私立高校の間における定員調整…………… ●

### II 活力と魅力のある高校づくり・経済社会の発展に寄与する人材を育む高校づくりに係る現状・取組状況等及び課題・方向性等

- 1 全日制課程…………… ●
  - (1) 普通科…………… ●
  - (2) 専門学科（理数科、体育科及び外国語等に関する学科）…………… ●
  - (3) 総合学科…………… ●
  - (4) 専門学科（職業学科）…………… ●
  - (5) 特色ある高校（多様なタイプの高校等）…………… ●
  - (6) 新たな特色ある高校…………… ●
- 2 定時制課程・通信制課程…………… ●

### III 教育諸条件等の整備に係る現状・取組状況等及び課題・方向性等

- 1 道外からの入学者の受入れ…………… ●
- 2 通学区域…………… ●
- 3 修学に対する支援…………… ●

### IV 地域とつながる高校づくりに関する現状・取組状況等及び課題・方向性等

- 1 地域連携特例校…………… ●
- 2 地域と密接に結び付いた取組…………… ●

### (参考) 関連データ…………… ●

- 1 総合学科…………… ●
- 2 中等教育学校…………… ●
- 3 連携型中高一貫教育校…………… ●
- 4 単位制…………… ●
- 5 普通科フィールド制…………… ●
- 6 地域連携特例校…………… ●

## アンケートの実施について

## 1 趣旨

「これからの高校づくりに関する指針」の成果と課題を検証するに当たり、これまでの高校配置などの取組の現状を把握するため、アンケートを実施し、今後の指針の見直しを検討するための資料とする。

## 2 内容

## (1) 高校教育に関するアンケート：高校を選択する際の基準や高校に望むこと等に関すること

対象校	全道の公立中学校及び高校	
対象者	生徒及び保護者（高：各約8万人、中：各約12万人）。	
質問項目	対象	内容
	生徒	<p>高校を選択する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校選択時にどのようなことを重視したか（学科、通学条件）</li> <li>・遠隔授業について受けてみたいか&lt;新規&gt;</li> </ul> <p>地学協働&lt;新規&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の魅力や課題について学習する機会があるか</li> <li>・高校時代を過ごした地域に、将来役に立ちたいか</li> </ul> <p>これからの高校に求めること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような教育を望むか</li> <li>・どのような学科があるとよいか（普通科改革）&lt;新規&gt;</li> <li>・中学校卒業後の進路希望 ※中学のみ</li> </ul>
	保護者	<p>高校を選択する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校選択時にどのようなことを重視したか（学科、通学条件）</li> </ul> <p>これからの高校に求めること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような教育を望むか</li> <li>・どのような学科があるとよいか（普通科改革）&lt;新規&gt;</li> <li>・中学校卒業後の進路希望 ※中学のみ</li> </ul>

## &lt;アンケート結果の方向性&gt;

- ・魅力ある高校づくりを推進していく中で、新学科等の設置に向けた検討が必要（普通科改革）
- ・地域と学校がより積極的に連携・協働し、地域全体で子どもの学びや成長を支えることが必要（地学協働）

## (2) 多様なタイプの高校等に関するアンケート：学習や学校生活等に関すること

対象校	総合学科(17)、単位制(37)、普通科フィールド制(7)、連携型中高一貫教育校(8) 中等教育学校(1)、地域連携特例校(25)・協力校(23) ※札幌市立を除く。	
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長(117)</li> <li>・生徒及び保護者(各約3万人)（地域連携協力校を除く）</li> <li>・教育委員会（連携型中高一貫教育校(8)、地域連携特例校(25)のある市町）</li> </ul>	
質問項目	対象	内容
	校長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果と課題：学習ニーズに合った科目開設</li> <li>遠隔授業、特例校間連携、地学協働（地域連携特例校のみ）</li> </ul>
	生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んでよかったこと</li> <li>・進学した理由</li> <li>・卒業後の進路</li> <li>・遠隔授業、出張授業、協力校との交流（地域連携特例校のみ）</li> </ul>
	保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学させてよかったこと</li> <li>・進学させた理由</li> </ul>
	教育委員会	<p>連携型中高一貫教育校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果と課題：中高間の連携、教職員の意識改革</li> </ul> <p>地域連携特例校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町に高校があるメリット</li> <li>・地学協働取組状況</li> </ul>

## &lt;アンケート結果の方向性&gt;

- ・総合学科、単位制：多様な学習ニーズや幅広い進路希望に対応できるよう、教育環境の充実が必要。
- ・フィールド制：普通科の特色づくりに結びついていない状況であり、廃止の方向。
- ・中高一貫教育：生徒一人一人の個性を重視した教育内容の一層の充実が必要。
- ・地域連携特例校：地域の教育機能の維持向上を図ることは重要。より一層生徒の多様な進路希望や学習ニーズに対応できるよう、取組の改善が必要。

## 3 前回調査との比較※現行指針策定の際に同様の調査を実施

項目	今回	前回
対象者	<p>高校教育：高～約8万人、中～約12万人</p> <p>多様なタイプ：生徒、保護者 約3万人</p>	<p>高校教育：中高6%、小保護者各校1人</p> <p>インターネット教育センター</p> <p>多様なタイプ：1, 3年の生徒、保護者</p>
実施方法	電子自治体共同システム「簡易申請機能」	紙（マークシート配付）
質問項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検証に当たり経年比較が可能となるよう、原則同様の質問項目。</li> <li>・負担軽減のため、質問を精選。</li> <li>・今後の施策の展開に活用できるよう、新規項目（遠隔、地学協働、普通科改革）追加。</li> </ul>	

## ○「高校教育に関するアンケート」設問項目（中学生）

<b>[1] 高校に進学するとしたら、あなたはどのようなことを考えて高校を選ぶか。</b>
①学科（例えば普通科、商業科、工業科など） ②高校卒業後の進路 ③学校行事や部活動 ④校風や学校のイメージ ⑤通学時間や通学距離 ⑥学費などの経済的負担 ⑦自分の学力 ⑧資格の取得 ⑨保護者など近親者のすすめ ⑩学校や学習塾の先生のすすめ ⑪仲のよい友人と同じ学校 ⑫わからない ⑬その他
<b>[2] 高校に進学するとしたら、進みたい学科はどのような学科か。</b>
①普通科 ②職業学科（農業科、工業科、商業科、水産科、家庭科、看護科、福祉科などの学科） ③専門学科（理数科、外国語科、体育科、工芸科、数理データサイエンス科などの学科） ④総合学科（共通教科から商業や家庭、福祉など専門教科にわたって幅広く開設された科目の中から興味・関心や進路希望等に応じて学ぶことができる学科） ⑤わからない ⑥その他
<b>[3] 高校に進学するとしたら、志望校を決める際に通学条件などについて、どのように考えるか。</b>
①自宅の近くにあって徒歩や自転車、バスなどの交通機関などで通学できる高校に進学したい ②多少遠くても、自宅から通学ができる希望の高校に進学したい ③下宿などをしてでも、希望の高校に進学したい ④わからない ⑤その他
<b>[4] 学校の教室でコンピュータを利用して、離れたところにいる先生からの授業を受けることができる遠隔授業を知っているか。</b>
①知っている ②知らない
<b>[5] 学校の教室でコンピュータを利用して、離れたところにいる先生からの授業を受けることができる遠隔授業を受けてみたいか。</b>
①とてもそう思う ②まあそう思う ③どちらともいえない ④あまりそう思わない ⑤全くそう思わない
<b>[6] 中学校の授業等で、地域の魅力や課題について、学習する機会があるか。</b>
①多くある ②時々ある ③どちらともいえない ④あまりない ⑤ほとんどない
<b>[7] 中学校の授業等で、学校の先生以外の地域の大人との交流や議論をする機会があるか。</b>
①多くある ②時々ある ③どちらともいえない ④あまりない ⑤ほとんどない
<b>[8] 地域の大人と交流する学習を経験し、勉強がおもしろいと感じるようになった。</b>
①とてもそう思う ②まあそう思う ③どちらともいえない ④あまりそう思わない ⑤全くそう思わない
<b>[9] 将来、中学時代を過ごした地域の役に立ちたいと思うか。</b>
①とてもそう思う ②まあそう思う ③どちらともいえない ④あまりそう思わない ⑤全くそう思わない
<b>[10] 中学時代を過ごした地域との関わりについて、どのように考えているか。</b>
①この地域で暮らし続けたい ②進学などで一度この地域を出たとしても、将来的にこの地域で暮らしたい ③別の地域で暮らしたいが、将来、この地域に何らかの形で関わりたい ④この地域を出て別の地域で暮らしたい ⑤わからない
<b>[11] 高校に進学した場合、高校卒業後の進路をどのように考えるか。</b>
①大学・短大等へ進学 ②専門学校へ進学 ③就職 ④自営（家業に従事など） ⑤わからない ⑥その他
<b>[12] 現在、どのような学習に興味や関心を持っているか。</b>
①文学や歴史、政治経済などの人文科学や社会科学に関すること ②生命、地球、自然現象などの学習や数学などの自然科学に関すること ③外国語や国際理解に関すること ④スポーツや健康に関すること ⑤コンピュータやインターネット等の活用などの情報・通信に関すること ⑥環境保全やリサイクルなどの環境に関すること ⑦観光や郷土研究などの地域学習に関すること ⑧音楽や美術などの芸術に関すること ⑨介護などの福祉に関すること ⑩介護などの福祉に関すること ⑩商品の流通・販売やコンピュータによる事務処理などの商業に関すること ⑪電気、建築、機械などの工業に関すること ⑫作物栽培や食品加工などの農業に関すること ⑬船舶操縦や水産加工などの水産に関すること ⑭服飾や食物などの家庭に関すること ⑮看護、医療などの衛生看護に関すること ⑯わからない ⑰その他

<b>[13] これからの普通科の高校にどのような教育を望むか。</b>
①大学受験のための知識・技能を身に付けることに重点を置く教育☒ ②理解が不十分な教科・科目の内容を基礎からわかりやすく学べる教育☒ ③学んだことがそのまま就職や卒業後の生活に役立つような実践的な教育☒ ④共通教科の中から、特に興味・関心のある科目を自由に選んで学べる教育 ⑤わからない ⑥その他
<b>[14] 今後北海道の普通科の高校には、どのような学びがあればよいと思うか。</b>
①持続可能な開発目標の実現（SDGsの実現）に関すること ②物とインターネットがつながること（IoT）や人工知能（AI）に関すること ③国際社会や日本社会の課題等について ④地域の課題や魅力を発見するなど地域社会の持続的な発展に関すること ⑤わからない ⑥その他
<b>[15] 今後北海道には、どのような高校があればよいと思うか。</b>
①午前・午後・夜間などから好きな時間帯を選択して学習できる ②コンピュータやインターネットなどを利用して、他の学校の先生や離れたところにいる先生の授業を受けながら学習できる ③将来の職業選択を視野に入れて共通科目から職業科目まで幅広く学習できる ④自分の進路希望にあわせて、その分野を選択して学習できる ⑤学年の区分がなく、自分で3年間の時間割を設定して学習できる ⑥高校と中学校が一緒に設置されていて、中学校から6年間一貫して学習できる ⑦特にない ⑧わからない ⑨その他
<b>[16] 現在、中学校卒業後の進路をどのように考えているか。</b>
①高校へ進学 ②高等専門学校（高専）へ進学 ③特別支援学校高等部へ進学 ④専修学校等へ進学 ⑤就職 ⑥まだ決めていない ⑦わからない ⑧その他
<b>[17] 高校のどの課程に進学したいと考えているか。※[16]で①選択者が回答</b>
①全日制課程（昼間に学ぶ高校） ②定時制課程（主に夜間に学ぶ高校） ③通信制課程（自宅で取り組んだ課題レポートの提出と月2～3回程度の面接授業により学習を行う学校） ④まだ決めていない ⑤わからない ⑥その他
<b>[18] 定時制課程や通信制課程を希望する理由 ※[17]で②、③選択者が回答</b>
①働きながら学びたいから ②自宅での学習を中心にしたから ③3年以上かけてゆっくりと学びたいから ④全日制に比べて授業料などが安いから ⑤自宅から通いやすいから ⑥自分の生活スタイルにあった時間に学びたいから ⑦自分の興味・関心のあることについて学びたいから ⑧自分の学力にあっているから ⑨わからない ⑩その他

## アンケートの集計結果（一例）

## 設問

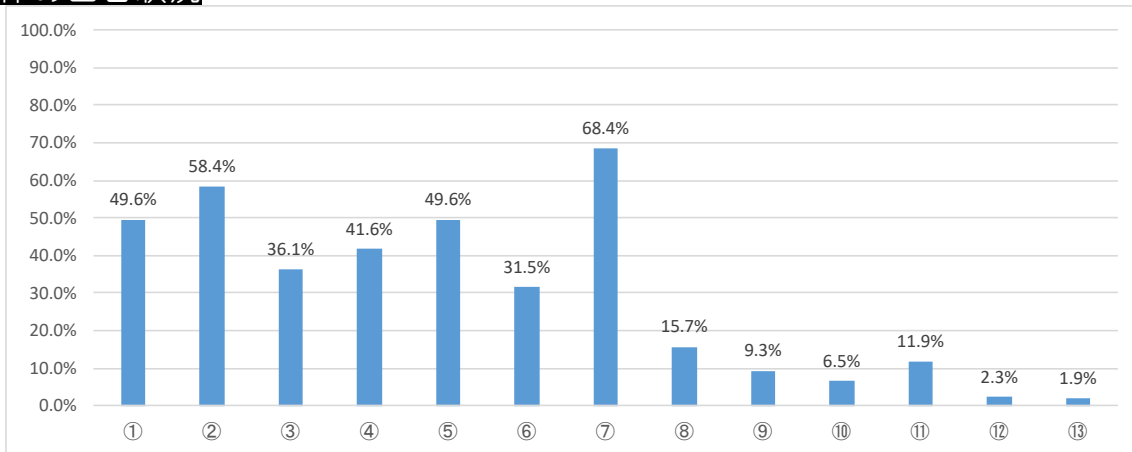
## 【高校を選ぶ基準】

高校に進学するとしたら、あなたはどのようなことを考えて高校を選ぶか。

- ①学科（普通科、商業科、工業科など） ②高校卒業後の進路 ③学校行事や部活動  
 ④校風や学校のイメージ ⑤通学時間や通学距離 ⑥学費などの経済的負担  
 ⑦自分（子ども）の学力 ⑧資格の取得 ⑨保護者など近親者のすすめ  
 ⑩学校や学習塾の先生のすすめ ⑪仲のよい友人と同じ学校 ⑫わからない ⑬その他

※同様の質問：中学生、中学生保護者、高校生、高校生保護者

## 全体の回答状況



## 調査対象者別・都市部・郡部別クロス集計結果

※都市部～人口50,000人以上の市、郡部～人口10,000人未満の市町村

	①学科（普通科、商業科、工業科など）	②高校卒業後の進路	③学校行事や部活動	④校風や学校のイメージ	⑤通学時間や通学距離	⑥学費などの経済的負担	⑦自分の学力	⑧資格の取得	⑨保護者など近親者のすすめ	⑩学校や学習塾の先生のすすめ	⑪仲のよい友人と同じ学校	⑫わからない	⑬その他
全体の回答	49.6%	58.4%	36.1%	41.6%	49.6%	31.5%	68.4%	15.7%	9.3%	6.5%	11.9%	2.3%	1.9%
都市部	49.9%	60.2%	36.9%	44.6%	50.9%	32.7%	72.0%	14.4%	9.4%	7.4%	10.6%	2.0%	1.7%
郡部	45.0%	49.7%	33.5%	33.7%	43.7%	29.7%	56.4%	22.2%	10.2%	3.9%	15.8%	3.3%	2.9%
中学生	56.3%	52.1%	43.5%	42.5%	45.1%	25.7%	70.6%	17.8%	14.8%	7.3%	17.6%	4.2%	1.5%
都市部	57.0%	52.6%	44.5%	43.9%	47.1%	27.0%	72.1%	17.5%	15.3%	7.9%	17.8%	3.8%	1.5%
郡部	52.7%	47.0%	41.2%	37.0%	37.1%	21.0%	64.7%	18.3%	12.5%	4.5%	16.7%	6.3%	1.8%
中学生保護者	60.7%	75.1%	36.1%	51.5%	65.3%	53.5%	76.3%	20.0%	3.7%	6.8%	6.3%	0.6%	2.0%
都市部	61.0%	75.7%	36.2%	53.7%	68.3%	55.6%	77.2%	19.0%	3.9%	7.5%	5.7%	0.5%	1.9%
郡部	58.2%	74.4%	36.7%	47.8%	53.9%	46.5%	73.7%	24.0%	2.9%	4.0%	8.4%	0.4%	2.7%
高校生	31.3%	39.8%	30.7%	28.2%	38.9%	14.0%	56.3%	11.8%	13.3%	6.4%	16.1%	3.0%	1.6%
都市部	30.4%	42.7%	31.8%	32.3%	36.4%	13.0%	64.5%	9.1%	12.9%	8.2%	12.3%	2.8%	1.5%
郡部	27.7%	31.6%	27.0%	20.7%	41.5%	23.1%	39.3%	24.0%	17.0%	3.5%	23.5%	3.9%	2.8%
高校生保護者	41.5%	64.5%	29.5%	39.9%	45.1%	26.7%	66.2%	9.7%	3.9%	4.8%	5.7%	0.6%	2.7%
都市部	40.2%	67.1%	30.0%	44.2%	45.5%	26.9%	71.0%	7.4%	3.9%	5.5%	3.9%	0.5%	2.0%
郡部	39.1%	48.5%	23.4%	27.0%	44.5%	32.3%	41.8%	23.8%	4.1%	3.1%	11.7%	0.4%	6.1%

## 集計の結果

- 高校を選ぶ基準については、「自分（子ども）の学力」の割合が68.4%と最も高く、次に「高校卒業後の進路」58.4%、「学科（普通科、商業科、工業科など）」、「通学時間や通学距離」が49.6%となっている。
- 郡部の高校生が高校を選んだ基準については、「通学時間や通学距離」の割合が最も高く、41.5% 都市部の高校生は「自分の学力」の割合が最も高く、64.5%となっている。